

2022年度 玉成保育専門学校 自己評価

- 評価の方法
教職員に対して、各評価項目を「専修学校における学校評価ガイドライン」を準じて4段階で評価するとともに評価の根拠についても記述するアンケートを実施し、その評価点の平均値を算出して評価項目の評価点とした。また、各領域の評価点は、領域内の各評価項目の評価点の平均値とした。
- 評価点
4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

1. 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	平均評価点	
1.学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	3.6
2.学校の特色として挙げられるものはあるか	4	
3.学校の将来構想は策定されているか	3.2	
4.学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、教職員、生徒及び保護者に伝わっているか	3.2	

【課題】

コロナ禍ということもあり、保護者を学校へ招くなどの関わりが持てず、学校の理念・目的が直接伝えられていない

【今後の改善方策】

保護者会の開催(教職員との接点を増やす)
学校の行事等への参加を促す

2. 学校運営

評価項目	評価点	
1.目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.6	3.8
2.学校は事業計画に沿って運営されているか	4	
3.教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	
4.教務の意思決定システムは整備されているか	3.6	
5.情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.6	

【課題】

2022年度事業計画に基づき、3つのポリシーの設定、併設されている幼稚園と保育園の協力を得て、プラクティカルスタディも実施することができたが、合同行事、学校だけの行事、そして教務事務も含めて、担当者が不在、退職しても滞ることなく実施できるようにする

パソコンの速度が低下しているので、業務に支障がある

【今後の改善方策】

業務内容のマニュアル化
行事のリーダー制の明確化
職員室PCの計画的な買い替え

3. 教育活動

評価項目	評価点	
1.教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3.9
2.教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学時間の確保は明確にされているか	4	
3.学科等のカリキュラムは目標達成に向け、体系的に編成されているか	4	
4.キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムが実施されているか	3.8	
5.授業をより良く改善するための授業評価を実施しているか	4	
6.成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
7.資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
8.職員の資質向上・指導力向上のための研修等が行われているか	3.8	
9.生徒一人一人の学習状況を把握し、適切な指導が行われているか	3.4	

【課題】

生徒一人ひとりの学習状況や性格は把握しているが、クラス授業のため、学生個々に合わせた指導は難しい
学習意欲のない学生の指導への取り組み

【今後の改善方策】

個別指導や少人数の補講を増やす
女子学生の気持ちに寄り添い、身体的相談にのるためにも女性教員の採用

4.教育成果

評価項目	評価点	
1.就職率の向上が図られているか	3.8	3.6
2.資格取得率の向上が図られているか	3.8	
3.退学率の低減が図られているか	3	
4.卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.6	

【課題】

退学者の増加を防ぐ(別にしたいことが見つかった。子どもたちと遊ぶだけの仕事と思っていたが違っていた。保育者になりたい意欲を失った。などが理由)

【今後の改善方策】

なるべく早く学生の変化に気づき、保護者を加えて丁寧な対応をする

5.学生支援

評価項目	評価点	
1.進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3.6
2.学生相談に関する体制は整備されているか	3.8	
3.定期的に健康診断を行うなど、学生への健康面への支援体制はあるか	3.8	
4.課外活動に対する支援体制は整備されているか	3.4	
5.納付金の分割納入等が学生の経済的側面に対する支援体制が整備されているか	3.8	
6.保護者と適切に連携しているか	3.4	
7.同窓会が組織され、活発に活動しているか	2.8	

【課題】

同窓会組織の高齢化に伴い、運営や同窓会の存在意義が不明瞭
コロナ禍の影響で行事に制限がある

【今後の改善方策】

ホームカミングデーを開催し、卒業生に同窓会の存在を周知する
在校生に対して有意義な活動を要望する(奨学金等)
行事に関しては、コロナとの共存に向け、すべての行事を再開する

6.教育環境

評価項目	評価点	
1.施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.2	3.5
2.万一、災害が起きた場合に備えた保険などの措置はあるか	3.8	
3.防災に対する体制は整備されているか	3.4	

【課題】

同じ建物内に、幼稚園と保育園及び学校があるため、学生がくつろげるカフェテリアや男子トイレが2階にないなど改善点がある

【今後の改善方策】

改修が必要な所は計画的に対応する
月1回の業者による学内清掃だけでなく、定期清掃でしていない箇所(高窓、外階段等)を年に1度、業者に清掃を依頼する

7.学生の受け入れ募集

評価項目	評価点	
1.高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.2	3.8
2.学生募集活動は、適正に行われているか	3.8	
3.学生募集活動において、資格取得・就職状況等の教育成果に関する情報は正確に伝えられているか	4	
4.学生納付金は、教育内容、学生及び保護者の負担などを勘案し、妥当なものとなっているか	4	

【課題】

教員は出来る限りの時間を割いて高校訪問をしているが、専門の募集担当の事務員がいる他校よりは圧倒的に訪問回数が少なく、高校の教員と強い関係を構築できない
高校生にとって知名度が低い

【今後の改善方策】

学生募集専任の人材確保
SNSだけでなく、テレビや動画配信サービスも利用して知名度を上げる

8.財務

評価項目	評価点	
1.中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	—	—
2.予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	—	
3.財務について会計監査が適正に行われているか	—	
4.財務情報公開の形式は整備はできているか	—	

【課題】

【今後の改善方策】

9.法令等の遵守

評価項目	評価点	
1.法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9	4.0
2.個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	
3.学校評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	
4.教育情報を公開しているか	4	

【課題】

法令に従って、情報公開等しているので、特に課題なし

【今後の改善方策】

特になし

10.社会貢献・地域貢献

評価項目	評価点	
1.学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.4	3.2
2.学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	
3.地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.2	

【課題】

コロナの影響で地域との関りが希薄化し、ボランティアへの参加も減少している

【今後の改善方策】

ボランティア活動や地域活動を授業の一環として組み込み、学生の積極的な参加を促す